

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果より

敦賀市立角鹿小学校

小学6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果から見えてきた角鹿小学校児童の成果と課題についてお知らせします。今回の調査で見えてきた課題を克服し、さらなる成長を目指して、学校全体で取り組んでいきます。

1 教科に関する結果から

○国語

【特に正答率の高かった設問】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく使う問題
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する問題
- 話し手の考え方と比較しながら、自分の考え方をまとめる問題
- 目的に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題

【課題】

目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関連付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかみる問題（下記の問題）

【対策】

教科学習や総合的な学習の時間のまとめを紙面上やタブレット上で行い、友達同士で交流したり発表したりする時間をさらに充実させます。

相手の発言の意図を考えながら発表を聞いたり、話し合ったりする場をより多く設定していきます。

（正答は「1」）

本設問では、小森さんが複数の質問を関連付けて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしているところが必要である。

- 1 「話し合いの様子」の小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、しましたか。最も適切なものを、次の1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましょう。
- 2 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 3 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を述べるようにしている。
- 4 複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

【話し合いの様子】

小森さん 質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にして働いているかを聞きたいな。きっと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

清川さん ぼくがよく乗るバスはいつも時間どおりに来るよ。時間を守ることも大切にしていると思うな。

町田さん 安全を考えながら時間を見ることは、大変そうだよね。

小森さん 確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきつかけにして、「仕事で大変なこと」を聞くことができるかもしれないよ。

清川さん バスの運転士は、楽しそうだなと思つていただけ、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。

町田さん きっと仕事にやりがいがあるからだよ。

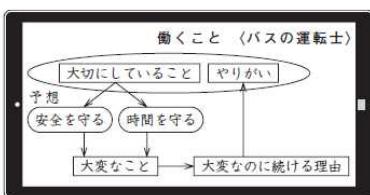
清川さん ぼくもそう思うな。大切にしていることとやりがいについては、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいたい。

小森さん ふうにまとめたよ。この進め方でいいかな。

問題

1 小森さんの学級では、働くことについて考えるために、自分の興味のある仕事をしている人にインタビューをすることにしました。バスの運転士に興味のある小森さんたちは、インタビューで質問することを話し合っています。次の【話し合いの様子】と【話し合いの記録】をよく読んで、どの問いに答えましょう。

【話し合いの記録】



出典:令和7年度全国学力・学習状況調査 小学校国語より

◎算数

【特に正答率の高かった設問】

○角の大きさについて理解しているかどうかを見る問題

○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、知りたい数量の求め方を式や言葉で記述する問題

【課題】

小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかを見る問題

(下記の問題①)

数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉えることができるかを見る問題

(下記の問題②)

【対策】

数の相対的な大きさについての理解を深めるために、小数や分数が整数と同じ十進法の仕組みで表されていることを図・表などを活用して理解が深まる場を充実させます。

視覚的な支援（具体物・図など）や体験的な支援（活動・操作）、言語活動（比較・説明）など色々なアプローチを組み合わせることで単位分数の意味理解を深めます。

理科や社会、家庭科など他教科で、また日常生活の中で、小数・分数の活用場面を設定し、理解を深めます。

問題①

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$ についてまとめています。



0.4 は 0.1 の 4 個分、 0.3 は 0.1 の 3 個分です。
 0.1 を ① として下の図のように表します。



$0.4 + 0.3$ の計算は、 0.1 をもとにすると、 $4 + 3$ を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$ は、 0.1 をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、 $0.4 + 0.05$ について同じようにまとめます。

0.4 は ② の 40 個分、0.05 は ③ の 5 個分です。
 $0.4 + 0.05$ の計算は、④ をもとにすると、 $40 + 5$ を使って考えることができます。

上の ⑤ にはすべて同じ数が入ります。⑤ に入る数を書きましょう。

(正答) 0.01

本設問では、 $0.4 + 0.05$ について、 0.4 は 0.01 の 40 個分、 0.05 は 0.01 の 5 個分とみることで、 0.01 を共通する単位として捉えることが必要である。

問題②

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



(正答) ア $1/3$ イ $5/3$ (1と $2/3$)

本設問では、0から1までを3等分した目盛りの一つ分の大きさは $1/3$ であることを見いだし、目盛りが表す数を、 $1/3$ のいくつ分として捉えることが必要である。

出典:令和7年度全国学力・学習状況調査
小学校算数より

◎理科

【特に正答率の高かった設問】

○電磁石の磁力を強くするために、コイルの巻数の変え方を書く問題

○ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いているかどうかを見る問題

【課題】

身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があるという金属の性質を理解しているかを見る問題

(下記の問題①)

【対策】

身の回りの様々な金属に磁石を近付けたり、乾電池と豆電球をつなぎだりするなど、授業の中で観察、実験を取り入れ、その結果を分類、整理するなど、金属の性質について理解を深める機会をつくります。

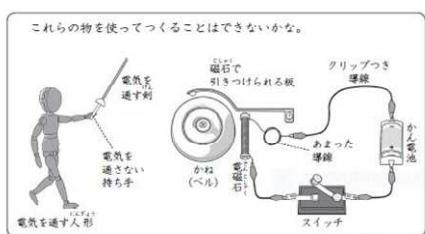
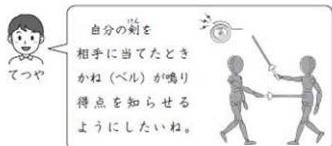
実験で得た結果を、問題の視点で分析して解釈し、自分の考えをもち、その内容を表現する問題

(下記の問題②)

実験の結果や条件をもとに、新しい問題や調べてみたい問題を見い出し、自分の考えを表現する場をつくります。また、互いの考えを発表し合い、他者の考えと比べることで理解を深める場を大切にします。

問題①

てつやさんといおりさんは、これまでに学習した電気の性質を利用して、フェンシングのおもちゃをつくることができないか、話し合っています。



（1）アルミニウム、鉄、銅の性質について、下の 1 から 4 までのうちからそれぞれ 1 つ選んで、その番号を書きましょう。同じ番号を選んでもかまいません。

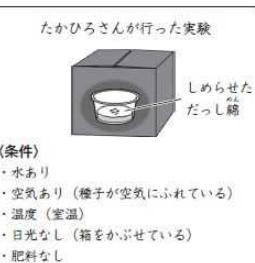
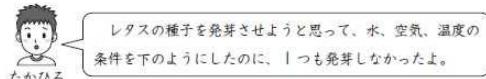
- 1 電気を通し、磁石に引きつけられる。
- 2 電気を通し、磁石に引きつけられない。
- 3 電気を通さず、磁石に引きつけられる。
- 4 電気を通さず、磁石に引きつけられない。

（正答）アルミニウム：2 鉄：1 銅：2

本設問では、アルミニウム、鉄、銅は電気を通すこと、鉄が磁石に引き付けられ、アルミニウム、銅が磁石に引き付けられないことを正しく捉えることが必要である。

問題②

たかひろさんたちは、レタスの種子を発芽させようとしています。



- （条件）
・水あり
・空気あり（種子が空気にふれてる）
・温度（室温）
・日光なし（箱をかぶせている）
・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から 1 つ選んで調べてみたい。

（4）てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を 1 つ書きましょう。

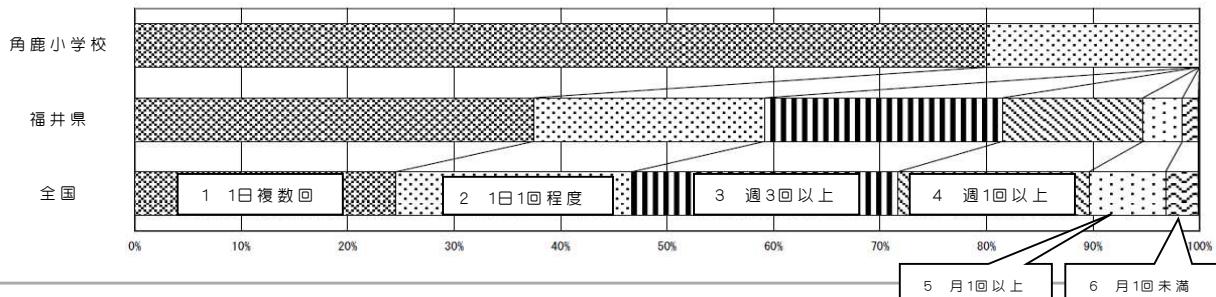
（解答例）
・レタスの種子が発芽するために、日光は必要なだろうか。

本設問では、実験の結果をもとに、〈条件〉の日光、肥料の中から 1 つ選び、レタスの種子が発芽するための条件について新たな【問題】を見いだし、その内容を表現している必要がある。

2 学習状況調査から

【特に良好であった点】

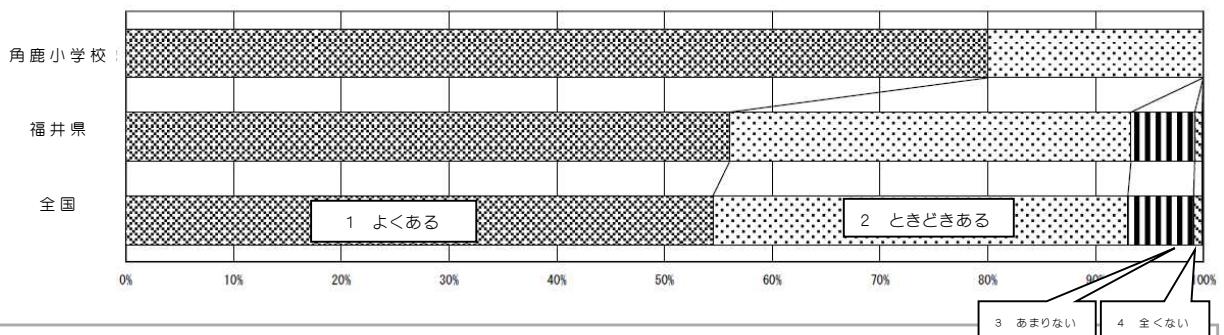
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。



「インターネットを使って情報収集ができるか。」「ICT機器を使って情報を整理することができるか。」

「ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができるか。」「ICT機器を利用することで、分からぬことがあったときすぐに調べることができるか。」などの項目でも、「とてもそう思う」と答えた児童の割合が高く、本校のスクールプランにも掲げている目標、「ICTツールの活用能力向上」に関する取り組みの成果が表れていると思われます。

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。



「人が困っているときは、進んで助けますか。」「人の役に立つ人間になりたいですか。」「学校に行くのは楽しいですか。」などの項目で、「あてはまる」と答えた児童の割合が高く、ポジティブ教育や日々の人権教育の積み重ねが、自己肯定感や思いやりの心の育成、尊重し高め合う集団づくりの育成につながっていることが分かります。

【課題】

- ・家庭での自主的な学習時間が短い。
- ・算数が苦手な児童が多い。
- ・読書が好きな児童が少ない。

【対策】

- ・自分で考え、他者と協働しながら学習を進める勉強法を身につけることで、子どもたちが学ぶ楽しさや喜びを感じられるようにします。
- ・算数への苦手意識を減らすために、教員が個々のつまずきポイントを把握し個別対応したり、スマートステップで成功体験を積み重ねたりしていきます。
- ・スクールプランにも掲げる「読書好きな子の育成」を推進するために、学校図書館の活用、家庭読書を進めていきます。

今後も、教職員一同力を合わせて、
学校教育目標「これからの中社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成」
に努めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。